

1 単元 「心に残ったことを」

2 単元の見込み

- 心に残った出来事の様子やそのときの気持ちを相手に伝える文章を書くことに意欲をもって取り組もうとする。(国語への関心・意欲・態度)
- 相手に伝えたいことの内容を決めて、文章の組み立てを考え、体験したことを詳しく文章に書くことができる。(書くこと)
- 既習の漢字は使用し、必要な箇所は行を改めて文章を書くことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元について

(1) 教材について

小学校学習指導要領(平成20年3月告示)では、国語科第3学年及び第4学年「B書くこと」の目標として「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。」と示されている。それを受け、この能力を育成するための指導事項ウに「書こうとすることの内容を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」と示されている。

児童は2年単元「じゅんじょよくかこう」で、経験した出来事について順序を意識して簡単な構成を考え、文章に書く学習をしてきた。本単元では、伝えたい事柄の内容を決めて構成を考え、心に残ったことを伝える文章を書くことをねらいとしている。さらに4年単元「わたしの考えたこと」では、理由を明確にし、構成を考えて自分の意見を書く学習をしていく。相手意識をもち、伝えたいことの内容を決めて書く材料を集め、それが伝わるように構成を考えることが大切となる。

(2) 児童の実態と指導観(男子\*人 女子\*人 計\*人)

文章表現に関する児童の実態調査(*月*日実施)		(人)
「始め・中・終わり」の3段落に分けて書くことができる。		*
一文が長すぎない。(一文中に2つ以上の事柄が盛り込まれ、かつ50字以上になる文がない。)		*
自分の感じたことを3つ以上入れて書いている。		*
既習の漢字を使って書いている。		*

なった。段落に分けて書こうとする意識は概ね身に付いてきている。しかし、出来事のみを羅列になってしまい、そのときの感情が盛り込まれていないものや、説明が不足しており同じ経験をしていない者には状況が分かりにくいものが多々見られる。その背景として、自分の体験した出来事について書くため、本人は内容が分かっており、他人が読んだときの読みやすさや分かりやすさまで意識せずに書いてしまったことが考えられる。したがって、相手意識をもち、分かりやすく表現する力を育てるための手立てが必要であると考える。

これらの実態を踏まえて、本単元では、学校での出来事について家族に紹介する文を書く、という言語活動を設定する。読み手を家族に限定することにより、その場にいなかった相手にも分かるように文章を書く意識づけを図る。文章の構成には色違いの付箋を活用する。「伝えたいことの内容」、「出来事」、「感じたこと」について色分けすることで、伝えたいことの内容を明確にし、出来事だけでなく、そのときの感情も盛り込めるようにする。また、付箋の特徴を生かし、加除や順序の入れ替えをしやすくすることで、文章構成が容易に行えるようにする。

4 学習計画及び評価規準(5時間) (本時は○)

次	時	主な学習活動	評 価			
			関	書	言	評価規準
一	1	・心に残った学校での出来事を家族に紹介する文章を書く活動を確認し、学習の見通しをもつ。	○			・心に残った出来事を思い出し、それを家族に文章で伝えることに意欲をもっている。
二	2	・体験した出来事の中から題材を選んで伝えたいことの内容を決め、詳しい出来事と気持ちを書き出す。		○		・出来事の詳しい様子やそのときの気持ちを具体的に付箋に書き出すことができる。
	③	・書き出した付箋から必要な内容を選び、文章を組み立てる。		○		・相手意識をもち文章の組み立てを考えることができる。
	4	・組み立てたメモをもとに、文章を書く。		○	○	・メモをもとに詳しく文章を書くことができる。
三	5	・書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。		○		・伝えたいことの内容が分かるように文章を書けたか確かめ、学習を振り返ることができる。

5 本時の学習

(1) 目標 伝えたいことを中心を伝えるための材料を選び、相手意識をもって文章の組み立てをすることができる。

(2) 準備・資料  
・付箋 ・ワークシート

(3) 展開

時間	学習活動及び内容	教師の支援○と評価 <input type="checkbox"/> 主体的な学び☆, 協働的な学び◎
5	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いちばん伝えたいことがつたわるようにするには、文章をどのように組み立てたらよいだろうか。</p> </div>	<p>○前時を振り返り、本時の課題を確かめる。</p>
20	<p>2 文章の組み立てを考え、組み立てメモを作る。</p> <p>(1) 前時に書き出した付箋から、いちばん伝えたいことに合った内容のものを選んで、ワークシートに貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いちばん楽しかった出来事の付箋を貼ろう。</li> </ul> <p>(2) 相手により伝わるように、順序を入れ替えたり、内容を付け加えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんは学校の様子を知らないから、このことも選ぶといいかな。</li> <li>・出来事のあった順に並べると分かりやすいかな。</li> </ul>	<p>○「いちばん伝えたいこと」を常に意識できるよう、色の違う付箋に書かしておく。</p> <p>○ワークシートを活用し、「始め」「中」「終わり」の三つのまとまりのうち、本時では「中」の部分を組み立てていくことを意識させる。</p> <p>○誰に伝えるのかワークシートに書かせることで、相手意識をもたせる。</p> <p>☆付箋を用いることで、内容の加除や並べ替えを容易にする。</p> <p>○出来事と気持ちについても付箋の色を変えておき、この二つをセットにして組み立てを考えるよう助言する。</p> <p>○事前に書いておいた以外にも新しく思い出したことがあれば、書き加えてもよいことを伝える。</p>
10	<p>3 ペアになり、考えた組み立てを見せ合い、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よかったところ</li> <li>・付け足すとよいこと</li> <li>・もっと知りたいこと</li> </ul>	<p>◎互いに見せ合い、感じたことを助言させることで、より分かりやすい文章構成を目指す。</p> <p>○助言することが見つからない児童には、もっと知りたいことを質問するように促す。</p> <p>◎友達の組み立てを見ることで、自分の組み立てとも比較し、振り返らせたい。</p>
5	<p>4 助言をもとに、組み立てメモを練り直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・順番を入れ替えてみよう。</li> <li>・説明の足りないところを書き加えよう。</li> </ul>	<p>○話し合った内容をもとにして、考えた組み立てを見直すよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[書く能力]</p> <p>A：相手意識をもち、必要な材料を選んで文章の組み立てを考えている。</p> <p>B：必要な材料を選んで文章の組み立てを考えている。</p> <p>(ワークシート, 行動観察)</p> </div>
5	<p>5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<p>○次時の予告をし、活動の見通しをもたせる。</p>